

国際協力機構 東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト

派遣先：東ティモール民主共和国 東ティモール大学

派遣期間：平成 28 年 3 月 11 日(金)～3 月 27 日(日)

技術職員：1 名

活動内容

1. 2015 年度採択研究テーマの成果確認および発表会前の事前指導
2. 各種会議への出席
 - ・ JCC(Joint Coordinating Committee)
 - ・ Joint Research Seminar
 - ・ Project Review Seminar
3. SolidWorks による CAE 解析指導
4. 報告書、発表資料の作成方法指導



2015 年度に採択された研究テーマの報告会が行われた。機械、電気、土木工学科から合計 11 件の研究報告が行われ、日本の支援大学の教員を交え、活発な質疑応答が行われた。



JCC では東ティモール大学学長、在東ティモール日本国大使館の参事官をはじめとする関係者立会いのもと、プロジェクトの活動報告が行われ、成果や課題等の説明が行われた。



SolidWorks による CAE 解析指導を行った。基本的な解析方法を指導後、具体的な解析事例に取組むことで、CAE 解析が研究へどのように寄与するかを知ってもらう機会となった。



2015 年 8 月に本学で博士号を取得した Junior 教官が、空圧機器の実験指導を行っている様子である。今後、同教官には東ティモールでの研究など幅広い分野での活躍が期待される。

東ティモール国立大学能力向上プロジェクトは、2016 年 3 月をもって終了となった。同プロジェクト期間中、東ティモールから 2 人の工学博士が誕生、国際学会での研究発表、4 年生学士プログラムの実施など成果が得られている。一方で、研究レベルの底上げなど残された課題は多いが、国の発展に貢献できる優秀な人材を輩出すべく、東ティモール国立大学のさらなる飛躍に期待したい。

参考 URL <http://www.jica.go.jp/project/easttimor/002/>

